

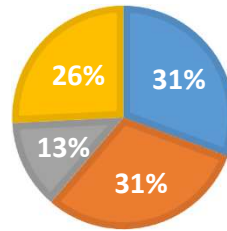
令和5年度 第1回岐阜市生物多様性シンポジウム
「レッドリスト・ブルーリストの生き物たち（爬虫類・両生類）」
アンケート集計結果

1. このシンポジウムをどこでお知りになりましたか。

チラシを見て	31%
広報ぎふを見て	31%
ホームページ	13%
その他	26%

(62人から回答)

■ チラシを見て ■ 広報ぎふを見て ■ ホームページ ■ その他

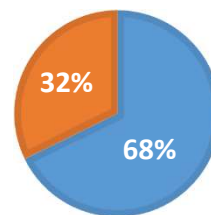


2. 本日はどちらからいらっしゃいましたか。

岐阜市内	68%
岐阜市外	32%

(62人から回答)

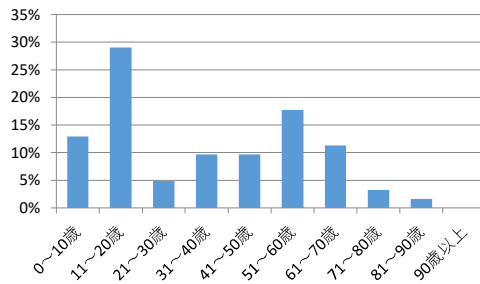
■ 岐阜市内 ■ 岐阜市外



3. ご年齢

0～10歳	13%
11～20歳	29%
21～30歳	5%
31～40歳	10%
41～50歳	10%
51～60歳	18%
61～70歳	11%
71～80歳	3%
81～90歳	2%
90歳以上	0%

(62人から回答)

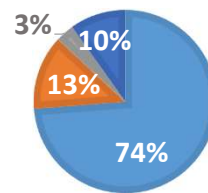


4. 参加回数

初めて	74%
2回目	13%
3回目	3%
4回目	0%
5回以上	10%

(61人から回答)

■ 初めて ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 4回目 ■ 5回以上



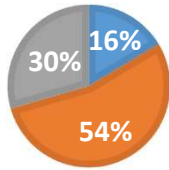
5. あなたの「生物多様性」についての理解度を教えてください。

①シンポジウム参加前

よくわかっている	16%
少しわかっている	54%
全く分からない	30%

(61人から回答)

■よくわかっている ■少しわかっている ■全く分からない

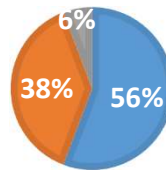


②シンポジウム参加後

よくわかっている	56%
少しわかっている	38%
全く分からない	6%

(52人から回答)

■よくわかっている ■少しわかっている ■全く分からない



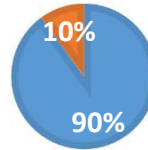
6. a) 本日の「講演」について

① 楠田哲士さんの講演について

よくわかった	90%
わからないところもあった	10%
ほとんどわからなかった	0%

(60人から回答)

■よくわかった ■わからないところもあった ■ほとんどわからなかった

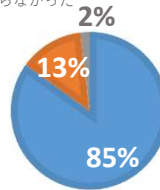


② 高木雅紀さんの講演について

よくわかった	85%
わからないところもあった	13%
ほとんどわからなかった	2%

(53人から回答)

■よくわかった ■わからないところもあった ■ほとんどわからなかった



6. b) 本日の「講演」について（意見・感想）

① 楠田哲士さんの講演について

- ・ニホンイシガメが少なくなっていることは知っていましたが、あそこまで深刻だと思っておらず危機感を覚えませんでした。自分にできることがあれば何かしたいと思いました。
- ・毎回川でアカミミガメを見るけど、駆除の仕方が分からなかったから対処の仕方を知りたかった。
- ・川で見るカメがミシシッピアカミミガメしかないという例が、岐阜市以外でもよく実感できるので（愛知県の川など）それだけアカミミガメが広く生息しているのだということがわかりました。一度野生のイシガメを見たいと思って毎回川をのぞくのですが、それが叶うよう、アカミミガメの繁殖を止める協力ができたら良いなあと思いました。（方法がわからないので思うだけが現状ですが…）
- ・ニホンイシガメの絶滅が心配です。このままではなくなる可能性もあるかと思いますが、よい方法はあるのでしょうか。今後どうするべきかを教えてくださいとありますが、よい方法はあるのでしょうか。
- ・ニホンイシガメを見分ける特徴を教えてください。
- ・ニホンイシガメがアライグマに前足をたべられてしまう理由はなんですか？
- ・昨年11月、岐阜大学で行われたシンポジウムで先生の講演を初めて聴き、ニホンイシガメにとっても興味を持ち、今回、更に学びを深めたいと思って参加させていただきました。最後まで本当に詳しく、そして分かりやすく、短い間でしたがお話しくださり、ありがとうございました。1つ質問させていただきたいです。負傷しているニホンイシガメを保護した場合、法律や規制上何かに問われることはありますか。以前そのようなイシガメを見たことがあるので教えてくださいとさせていただきます。
- ・日本固有のカメが少なくなっていることがわかりました。
- ・ニホンイシガメは最近、クサガメとのハイブリッド（ウンキュウ）しか見たことがないため、ニホンイシガメが少なくなっていることがより実感しています。
- ・ニホンイシガメは日本固有なため、日本がほこれる生き物なので自分でもレアだからとるのではなく少ないからこそ大切にイシガメが生きていきやすい生息をつくっていきたい。
- ・ただ外来種を駆除するだけでなく、外来種を駆除した後の生態系への影響も考慮しなければならないことを学んで、生態系は慎重に手入れをしなければならぬと改めて実感しました。何より、外来種を持ち込まないことが1番の対策だとわかりました。
- ・岐阜はカメが育ちやすい環境であることが知れた。家の近くの水路にもカメがいるが、アカミミガメだと思う。外来種が減ってイシガメが増えてくれるといいと思った。外来種のカメを捨てる人が減ってくれるといい。
- ・早田川は私のふる里を流れている川です。そんな川にワニガメがいたなんてびっくりでした。ニホンイシガメが増えるのは、もう至難の技だと感じました。水路の環境変化が減少させている点もあると思う。
- ・ニホンイシガメはぜつめつきぐしゅということが分かった。ミシシッピアカミミガメはたくさんいることが分かった。
- ・日本自然保護協会の日本のカメ調べに参加しています。参考になりました。セッションのアライグマの話はよくわかりました。
- ・商品として販売されているニホンイシガメは、飼育繁殖によって増やされたものが販売されているのだと思っていましたが、天然のものを乱獲しているというケースが多いという事実には驚かされました。
- ・身近な生き物であるカメの世界を自分は全く知らなかったことがわかった。在来種を保護する意義についてお話しいただいたことはとても参考になりました。
- ・“縁日のカメが成長して大きくなった後、放流してはいけない”、という話を10年位前に聞いたので、今は、かなり、皆が気を付けているのかなーと思っていますが、まだまだアカミミガメが多い、そしてさらに増えているという現状をあらためて知り、驚きでした。
- ・私は生き物が好きで自分で川に行ったり、学校での調査で地域の川に行くことがあるのですが、ニホンイシガメを見かけることや捕獲することがたびたびあり、数はけっこういたりするのかもしれないと思っていたのですが、今回絶滅危惧種Ⅱ類へと上げられたように、生息地・生息数が激減している現状を知れたのでよかったです。
- ・かめを家でかってみよう。
- ・ミドリガメはよく見るけど、ニホンイシガメは見たことがないです。絶滅しないでほしい！！
- ・自然の大きさがよくわかりました。生き物との共存が大切だと思います。
- ・先生のカメに対する愛がとてもよく伝わってきました。ニホンイシガメを絶滅させないために何かできることがあれば幸いです。
- ・固有種であるニホンイシガメの知名度が低い一方で、外来種のアカミミガメの知名度は高いことから、僕らが今の環境に慣れすぎていることに危機感を持った。
- ・ニホンイシガメなどの状況について良く知ることができました。話し方もとてもおもしろかったです。
- ・イシガメの減少理由や外来種の影響まで知られてよかったです。クサガメがレッドリストからブルーリストへ変わったと知っておもしろいと思いました。
- ・すごく話が分かりやすかったです。もっと長い時間話を聞きたかったです。
- ・カメをつかまえた時から図鑑を調べまわりました。そしてこのシンポジウムに。もっとふかく知りたいと思えました。
- ・イシガメを見たことがあるので、そんなにしんこくなくじょうきょうだと思っていなかった。
- ・分かりやすかったです。
- ・レッドリストについては聞いたり、調べたりしたことがあったけど、ブルーリストについては最初、存在も知らなかったです。今回、在来種と外来種の深いつながりについてレッドリストやブルーリストを通して理解が深まりました。また、思っていたより身近に図かんで見たような外来生物がいることを知り、危機感をもつとともに、より現実味ができました。
- ・ニホンイシガメがなぜ危険なのか、どれだけ危険なのか具体的なことが知れて、勉強になりました。在来種、外来種についてもいろいろ知れて、気を付けていかないとけないと思いました。
- ・アカミミはアライグマの被害がないのに、イシガメは2割も手足を食われてるという話がおもしろかったです。イシガメがたくさん輸出されてる、という話も。
- ・岐阜市、日本のカメが外来種におきかわってしまうのではないかと心配になりました。
- ・ミドリガメはよく見るけど、ニホンイシガメは見たことがないです。絶滅しないでほしい！！

② 高木雅紀さんの講演について

- ・ アズマヒキガエルのガマ合戦は今年どうしても見てみたいと探し回りましたが、梅林公園以外見つけれなかったのので、今回の講演を聞いてやはり減ってしまっているのかと悲しい気持ちになりました。カエルが特に好きなので、カエルが登りやすい用水路や通り道が増えてほしいと切実に思います。
- ・ オオサンショウウオの交雑がそこまで進んでいることを知らなかったから、びっくりしました。
- ・ カスミサンショウウオが9種に分類されたということですが、岐阜にいるサンショウウオはヤマトサンショウウオ以外に旧カスミサンショウウオである種類はどのくらいいるのでしょうか？ヤマトサンショウウオだけなのでしょうか？
- ・ ニホンアマガエル、ヤマアカガエルについては調査に参加したので絶滅危惧1類なのは理解できます。
- ・ そもそも岐阜市でサンショウウオやカエルが息できなくなったのはなぜか？
- ・ ヤマトサンショウウオ、アズマヒキガエル、ニホンアカガエルの見分け方を教えてください。
- ・ 環境の変化によってカエルもサンショウウオも少なくなっている為、人間が手助けできるように生態を知り今後につなげていきたい。
- ・ 現在、岐阜高校自然科学部生物班でサンショウウオの交雑種について研究（ヤマト×セトウチ）しているのですが、産卵時期が以前とは変わってきているということの原因に、様々なことがかかわっているかもしれないとわかり、とても勉強になりました。また、雨の降り方が生態に影響を与えることを、今まであまり知らなかったのので、今後は、そのことも視野に入れていこうと思います。貴重なお話を本当にありがとうございました。
- ・ いろんな活動をしていることがわかりました。
- ・ 先生は、「とって、大きくして、返す」ことのすごさや、大切さがものすごく伝わってきました。努力した、ヤマトサンショウウオ、ヒキガエルなど先生のおかげでここまで広がってきているのだと分かりました。自分でもできることがあると思うのでやれることはやりたいと思います。
- ・ サンショウウオの卵について、降水量の変化ではなく、降り方の変化が影響しているという話がとても興味深かったです。また、講演を通して、生きものの繁殖地を守ることはとても大切なことであると実感しました。
- ・ アクアトドでオオサンショウウオを見たことがあるが、大きいものだけでなく小さいサイズのサンショウウオがいることを知った。
- ・ 温暖化の影響や道路の整備など人間によって、生物の生活環境が変えられてしまっていることは深刻な問題だと思いました。
- ・ 梅林公園の状況が理解できた。観察の見方を変えていきたい。トノサマとナゴヤダルマの違いがわかりやすい。
- ・ 岐阜の高校で、両生類の保全活動や研究が行われていること、そのレベルの高さすばらしいなと思いました。水域環境と密接にある生物は環境問題からの影響が顕著にあるのではないかと感じました。より大きな視点から保全していくことが重要だと改めて思いました。
- ・ たまり水がないことの原因は地球規模だということで深い問題。森林のかつてない成熟により、わき水が少なくなっているのも関係あるのかと考えました。
- ・ サンショウウオのTシャツやぬいぐるみを見て、在来種・外来種など、よくわかりました。
- ・ サンショウウオやヒキガエルの岐阜県内での現状を知らなかったため、非常に良い学びになりました。岐阜県内での生息地では、人が手を加えていないところ以外では生息数が激減している場合もあるというのが驚きました。継続的な調査・保全とともにその活動を広げることが重要だと思いました。
- ・ すごいと思った。なぜならつかまえるのがむずかしそうだったから。
- ・ サンショウウオを実際に見たことがないので、ぜひ見つけてみたいと思いました。
- ・ 岐阜は水辺の多い県布です。生き物が楽に生きていけるようにしてほしい。交雑種は？
- ・ 先生の両生類に対する愛がとてもよく分かりました。生物の種の保存だけでなく交雑も課題であることが分かりました。
- ・ 今生物班では今後のことが明確に決まっていなかった中だったので“雨の降り方”であったり、“エコトーン”であったりと様々な着眼点を提示していただきありがとうございます。
- ・ ヤマトサンショウウオ、オオサンショウウオなど、結構大変な状況だなと思いました。自分も何らかのアクションを起こしたいです。
- ・ ヤマトサンショウウオの放流数の減少について水辺の変化やその理由をわかりやすく話していて楽しかったです。
- ・ とても興味深い話ありがとうございました。
- ・ わからないこと、知らないことだらけでした。子供と共に学んでいきたいです。
- ・ 学校でヤマトサンショウウオの保護していてすごいと思った。
- ・ 今学校で研究しているヤマトサンショウウオについて、より理解が深まりました。世話をしていく中で色々困っていることも多かったのですが、今回のお話を参考にしていきたいと思います。
- ・ 両生類の現在の状況、危険、そして人の手が加わらないと繁殖できない実態について、本当に貴重なお話を聞かせていただけました。気候変動の影響は本当に感じるので、対策も考えていかなければならないと思いました。
- ・ ヒキガエルが産卵しても死卵が多い。それは雨の降り方の変化によって、卵が過熱になっていて死卵が多くなるという。
- ・ 休みなく活動されていることがよくわかりました。

7 その他、生物多様性シンポジウム全体について（意見・感想）

- ・ 今回の講演はとても興味深く楽しい内容でした。爬虫類、両生類でまたお話を聞く機会があるといいなと思います。
- ・ 実物を見てみたかった（特にワニガメ）。
どの生物が保護禁止なのかなどが知りたかった。
- ・ 今回の話を聞いて協力を個人単位でしたいと感じたので、個人でできるような取り組みについてご紹介頂けたら嬉しく思います。
- ・ 岐阜県の絶滅危惧種のレッドリストブルーリストの子供（小学生）がもちあるいて観察できる本があればうれしいです。それをもって岐阜県内をまわってみたい。
- ・ サンショウウオ、カメ、ハリヨを次回以降のテーマにしてほしい。
- ・ 里、庭の生き物を次回以降のテーマにしてほしい。
- ・ レオパについてを次回以降のテーマにしてほしい。
- ・ 今回は生きものについてであったので、次回以降は植物についての講演をぜひ聴いてみたいです。
- ・ 息子がテレビなどで絶滅危惧種の生物について興味を持っていたので今回参加できてよかったです。
- ・ 人間のエゴによって生ずる環境変化による生物絶滅をテーマにして欲しい。

- ・ トークセッションの時間をもう少し長く取ってほしい。
- ・ 大塚さんのコーディネートにより、より深い内容でした。
- ・ とてもよくわかりました。第2回以降も参加したいと思います。
- ・ マニアックな話ばかりです、おもしろいです。環境との関係を広めていく必要を感じます。今後も続けてください。楽しみにしています。
- ・ 地球温暖化などの理由によって生息域が変化してきている生き物をテーマにした講演をしてほしいです。そのほかにも、天然のホタルの生息状況・絶滅危惧種の保全・復活なども気になります。
- ・ 子供たちを連れて、水辺を観察してみたいなと思いました。自然を良くするのも悪くするのも人間、普段の生活から気に掛けていきたいです。
- ・ おもしろい話がたくさんあって次回も参加したいです。
- ・ 参加者の年齢層もまちまちで、生き物について関心のある人が多いことにおどろきました。それぞれの興味のある分野から入り、生物多様性について考え、行動することにつながるとよいと思いました。
- ・ 2人ともおもしろい話をしてくださってよい経験になりました。
- ・ 実際に実物を見たかった。実物を見ながら話を聞ける場所で開さいしてもらいたいです。
- ・ どちらの先生の話も興味深い話でした。子供が好きなので、私もいろいろな場所に行きます。いろいろと調べますが、もっと場所を知りたいです。シンポジウムを通して地図などあればうれしいと思いました。
- ・ こういうかつどうをたくさんしてほしい。
- ・ カエルについてを、テーマにして欲しい。
- ・ いろいろな生物の交雑種のお話を聞いてみたいです。